

原田産業、サステナブル・ビジネス情報メディア「オルタナ」と共同でオンラインセミナー「迫るCFP算定、サプライチェーンをどう巻き込むか」を開催

—スコープ3・CFP対応の最新動向と実践事例を共有—

迫るCFP算定 サプライチェーンを どう巻き込むか

スコープ3開示やCFPの最新動向

サプライヤーとのCFP算定事例



日本能率協会
河村 渉



原田産業株式会社
李 駿也

3.5 木

14:00~15:00

オンライン無料セミナー

alterna



■ 要旨

原田産業株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長 原田 晓）は、サステナブル・ビジネス情報メディアのオルタナと共同で、無料オンラインセミナー「迫るCFP算定、サプライチェーンをどう巻き込むか」を2026年3月5日（木）14:00～15:00に開催します。

本セミナーでは、スコープ3開示や製品のカーボンフットプリント（CFP）算定を巡る最新の動向と、商社として原田産業の実務的な取り組みを紹介し、企業が対応を進めるうえでの示唆を提供します。

■ 開催の背景

近年、企業活動における温室効果ガス排出量の把握・開示が重要性を増しており、とくにサプライチェーン全体の排出量であるスコープ3の開示に向けた取り組みが求められています。また、製品単位の環境負荷を示すCFP算定は、企業間の製品選択基準としても注目されています。

しかし、サプライヤーとのデータ連携や現場との対話など、実務の中では多くの課題が残されています。

こうした状況を踏まえ、CFP算定の実務に関心を持つ企業に向けて、最新動向と具体的な進め方を共有する機会として本セミナーを企画しました。

■ セミナーの内容

- ・ タイトル：「迫るCFP算定、サプライチェーンをどう巻き込むか」
- ・ 日時：2026年3月5日（木）14:00～15:00
- ・ 形式：オンライン開催（Zoom）
- ・ 参加費：無料
- ・ 主催：株式会社オルタナ／原田産業株式会社
- ・ 申し込みページ：<https://peatix.com/event/4807951/>

セミナーのアジェンダ

1.スコープ3開示やCFPを巡る最新動向

（河村 渉 氏／一般社団法人日本能率協会 サステナビリティセンター 主任検証審査員）

2.サプライヤーと取り組むCFP算定事例

（李 駿也／原田産業株式会社）

3.質疑応答

セミナーでは一般社団法人日本能率協会 サステナビリティセンター 主任検証審査員であり、CDPにて企業の環境データ開示支援に従事した経験を持つ「河村 渉」氏が、スコープ3開示やCFPを巡る最新動向と企業が押さえるべきポイントについて解説します。

その後、原田産業の全社サステナビリティ推進プロジェクトリーダーである「李 駿也」が、サプライヤー現地工場への訪問や対話を通じたCFP算定の実施事例を紹介します。

最後に質疑応答を行い、参加企業の実務上の疑問にも応える構成です。

原田産業について

2023年に創業100周年を迎えた原田産業は、造船、建設、医療、介護、食、エレクトロニクスなど幅広い業界向けに商品・サービスを提供するグローバル商社です。

「社会課題の解決」を企業の存在意義と認識し、2020年より全社的なサステナビリティ活動を本格始動、自社取り扱い商材のカーボンフットプリント（CFP）算定などを開始しました。

また、2025年6月には、国際的イニシアチブであるSBTi（※1）より「NEAR-TERM SCIENCE-BASED TARGETS（科学的根拠に基づく短期目標）」の認定を取得しました。

（※1） SBTi（SBTイニシアチブ）：CDP（旧カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト）、国連グローバル・コンパクト（UNGC）、世界資源研究所（WRI）、世界自然保護基金（WWF）の4機関が共同で運営するイニシアチブ

参考

- ・本セミナーの申し込みページ：

<https://peatix.com/event/4807951/>

- ・原田産業の企業情報：

<https://www.haradacorp.co.jp/company/>

- ・原田産業のサステナビリティについて：

<https://www.haradacorp.co.jp/sustainability/>

- ・原田産業のサステナビリティ関連商品、サービス・自社取り組み紹介特設サイト：

<https://www.haradacorp.co.jp/sdgs/>

原田産業株式会社のプレスリリース一覧

https://prtentimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/158914